

款 9 消防費

項 1 消防費

目 1 常備消防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
3,153,369,000円	3,130,714,241円		22,654,759円

少子高齢化の到来、さらには情報化の進展等により社会情勢が変化するとともに、市民のニーズも多様化し、災害の態様も多様化の傾向を見せております。これら諸情勢の変化を見極め、住民の生命、財産を守るため、発災時の初動体制の確立、救急業務の高度化の推進、消防水利の充実及び火災予防の普及啓発に努め災害対応能力の向上を図りました。

[一般職給]	259人	2,284,753,000円	
[嘱託職給]	4人	11,491,451円	
[退職手当]	9人	284,980,865円	(その他特財 1,545,337円)
[交際費]		50,000円	
[福利研修費]		18,346,015円	
うち救急救命士養成	2人	3,645,000円	
うち救急Ⅱ課程	10人	577,100円	
[消防施設管理費]		136,470,454円	
・庁舎等管理費		83,795,416円	
・消防車両管理費		41,295,543円	
・消防艇管理費		8,798,477円	
・防火水槽等管理費		2,581,018円	
[出初式関係経費]		1,126,230円	
[火災予防関係経費]		3,517,593円	
・火災予防運動活動費		3,417,593円	
・防火協会補助金		100,000円	
[危険物保安技術審査委託費]		9,483,500円	(その他特財 9,483,500円)
[常備消防一般管理費]		64,381,610円	
・貸与被服費		11,575,181円	
うち備品購入費 セパレート型防火衣	8着	793,800円	
・救急関係事業活動費		6,393,416円	
・消防音楽隊活動費		4,214,350円	
うち講師報償金		1,450,000円	
・一般経費		42,198,663円	
[上水道消火栓新設補修費補償金]		27,443,000円	
(新設 51カ所・補修 107カ所)			
[楠、朝日、川越三町消防事務受託費]		280,144,083円	(その他特財 280,144,083円)
・一般職給	33人	266,629,951円	
・一般経費		13,514,132円	
[負担金]		8,526,440円	
・三重県防災航空隊		7,249,000円	
・全国消防長会等		1,277,440円	

火災発生状況(歴年)

区 分	火災発生件数(件)			死傷者(人)			損害額(千円)
	建物	その他	計	死者	30日瘡	負傷者	
平成11年	65	54	119	5	0	10	383,555
平成12年	58	69	127	4	0	19	391,514
前年比	7	15	8	1		9	7,959

救急出動件数推移表（歴年）

区 分	平成 8 年	平成 9 年	平成10年	平成11年	平成12年
急 病	3,866	4,099	4,208	4,618	5,019
交通事故	1,690	1,644	1,632	1,605	1,755
その他	1,819	1,852	1,979	1,922	2,343
合 計	7,375	7,595	7,819	8,145	9,117

〔成 果〕

救急救命士 2 人、救急Ⅱ課程修了者10人を養成し、救急業務の高度化に努めるとともに、消火栓について、51カ所新設（敷設替え）等を行い消防水利の維持・充実に努めました。

目 2 非常備消防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
99,726,000円	97,302,904円		2,423,096円

地域防災の要となる消防団組織の各種教育訓練を通じて災害対応能力を高めるとともに、活性化に努めました。また、各地域における自主防災組織の育成を図り、市民の自発的な防災対応能力の向上に努めました。

〔非常勤職員報酬〕	412人	12,452,100円	
〔交際費〕		49,560円	
〔団員等公務災害補償費〕		1,950,370円	（その他特財 1,946,950円）
〔団員退職報償金〕	29人	5,834,820円	（その他特財 4,328,000円）
〔団員福利研修費〕		2,169,768円	
〔分団施設等管理費〕		5,385,661円	
・施設管理費		2,251,684円	
・車両管理費		3,133,977円	
〔団消防操法大会関係経費〕		211,835円	
〔非常備消防一般管理費〕		51,983,237円	
・消防団運営費交付金		2,950,000円	
・貸与被服費		5,046,456円	
うち防火外とう23着		584,325円	
・一般経費		43,986,781円	
〔自主防災組織関係経費〕		8,585,427円	
・市民防災隊運営費補助金等		3,215,000円	
・自主防災組織設置費等補助金 27隊		4,050,000円	
・自主防災組織研修費等		1,320,427円	
〔負担金〕		8,680,126円	
・消防団員等公務災害補償等共済基金		8,131,126円	
・三重県消防協会北勢支会		549,000円	

〔成 果〕

自治会を単位とする自主防災隊が新たに27隊結成され、当該地域における自発的な災害対応能力の向上と住民の防災に関する認識が深まりました。（本年度末現在 546隊）

目 3 消防施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
101,701,000円	98,350,939円		3,350,061円

災害現場での活動能力の維持及び向上を図るため、老朽化した消防車両の更新と、施設装備等の充実強化に努めました。

また、水難救助隊の結成に向けて、研修訓練を実施しました。

〔消防庁舎等施設整備事業費〕	1,858,500円		
〔救急分駐所整備事業費〕	2,368,852円		
〔消防車両購入費〕	58,628,160円		
・水槽付消防自動車（中署） 1台	35,196,540円	〔 国庫支出金 5,774,000円 市 債 26,200,000円 〕	
・消防分団車（三重・海上） 2台	17,557,080円		
・寄贈救急車改装（救急分駐所）1台外	5,874,540円	〔 国庫支出金 5,630,000円 市 債 10,100,000円 〕	
〔消防活動用機器整備費〕	7,073,440円		
・空気呼吸器 4基	892,500円		
・消防ホース	1,533,210円		
・水難救助資機材 3セット	2,498,170円		
・泡消火薬剤等	2,149,560円		
〔消防水利整備事業費〕	24,366,152円		
・耐震性貯水槽設置 2カ所	19,488,000円	〔 国庫支出金 6,518,000円 市 債 11,700,000円 〕	
・防火水槽改修	4,878,152円		
〔市民防災隊施設整備事業費〕	2,509,500円		
・ポンプ保管庫設置 3カ所	1,417,500円	〔 県支出金 703,000円 〕	
・ポンプ更新 2カ所	1,092,000円	〔 県支出金 546,000円 〕	
〔楠、朝日、川越三町消防事務受託施設等整備事業費〕	1,546,335円	〔 その他特財 1,546,335円 〕	

〔成 果〕

中消防署に配備の水槽付消防自動車、三重及び海上分団に配備の消防車を更新し、性能の向上と資機材の充実を図りました。また、水難救助隊用の資機材（3セット）を購入し、隊の結成に向けて研修訓練を行いました。

耐震性貯水槽を2カ所（笹川2丁目、西村町）設置し、震災時における水利の充実を図りました。

目4 水防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
5,296,000円	5,270,267円		25,733円

現実に水害が生じ、また生じようとしている時に、市民の命と財産を水害から守り、被害を最小限にとどめるための水防活動は重要です。

これら水防活動に備え、年次的に水防倉庫の整備を行うとともに、水防活動に対し運営費の交付を行いました。

〔水防施設整備事業費〕	1,296,750円
・水防倉庫設置（市内44カ所のうち 1カ所）	
〔水防訓練経費〕	338,100円
〔水防組合運営費交付金〕	562,764円
〔一般経費〕	3,072,653円

〔成 果〕

水防倉庫の老朽化にともない、堂ヶ山町地内の堂ヶ山水防倉庫の更新を行うとともに、全市に28組織ある水防組合に対し、運営費交付金を支出しました。また、9月11日の集中豪雨を始めとする水災害や訓練で使用した土のう袋、木杭等水防資材の補充を行った他、バリケード等を購入し、水防資機材の充実を図りました。